

HPV ワクチンの有効性及び安全性に関する疫学研究の概要

1. 研究事業名

厚生労働科学研究費補助金 新興・再興感染症及び予防接種政策推進事業

2. 研究課題名

子宮頸がんワクチンの有効性と安全性の評価に関する疫学研究

3. 研究予定期間

平成27年7月7日から 3年計画 (現在1年目)

4. 研究者

○主任研究者 祖父江友孝 大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座教授

○分担研究者 12名 (平成27年度)

(疫学・公衆衛生、神経内科学、小児科学、疼痛医学、がん領域等、
関連する診療科の専門家により構成)

5. 研究計画の概要

HPV ワクチンについては、国内における安全性及び有効性についての疫学評価が乏しいことから、複数の専門家によって構成される共同研究により以下の研究を行う。

- 「疼痛並びに運動障害を中心とした多様な症状」の発現頻度並びに関連因子を明らかにすることを目的とした記述疫学研究
- HPV ワクチン接種後の「疼痛並びに運動障害を中心とした多様な症状」に関する追跡研究
- 子宮頸がん検診受診者における HPV ワクチンの有効性に関する疫学研究

子宮頸がんワクチンの有効性と安全性の評価に関する疫学研究 研究者一覧

(平成27年度実績)

主任研究者

- ・ 祖父江 友孝 大阪大学大学院医学系研究科教授（がん疫学・公衆衛生）

分担研究者

- ・ 垣添 忠生 日本対がん協会会長
- ・ 福島 若葉 大阪市立大学大学院医学研究科教授（疫学・公衆衛生）
- ・ 原 めぐみ 佐賀大学医学部講師（疫学・公衆衛生）
- ・ 柴田 政彦 大阪大学大学院医学系研究科教授（疼痛医学）
- ・ 榎本 隆之 新潟大学医学部教授（産婦人科）
- ・ 上田 豊 大阪大学大学院医学系研究科助教（産婦人科）
- ・ 宇川 義一 福島県立医科大学教授（神経内科学）
- ・ 平田 幸一 獨協医科大学医学部教授（神経内科）
- ・ 岡 明 東京大学医学部教授（小児科）
- ・ 宮本 信也 筑波大学人間系教授（発達行動小児科学）
- ・ 喜多村 祐里 大阪大学大学院医学系研究科准教授（疫学・精神保健）